

2 荒廃森林緊急整備事業のモニタリング調査

(目的)

荒廃森林緊急整備事業の効果を分析・検証するための森林のモニタリング調査を実施。

(調査方法)

平成19～21年度の3年間に整備を行った箇所（24箇所／1年 × 3年分）については、整備前及び整備後2年目から5年目、8年目についての調査を行う。

対照区として整備を行わない箇所については、一回目の再調査と概ね5年目、8年目についての調査を行う。

年度	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
整備箇所 ○：設定・調査 （整備前） ●：再調査 （整備後）	○ 24	→	● 24	→	→	● 24	→	→	● 24	→	→	→	→
		○ 24	→	● 23	→	→	● 23	→	→	● 23	→	→	→
			○ 24	→	● 24	→	→	→	● 24	→	→	→	→
対照区 ○：設定・調査 ●：再調査		→	● 9	→	→	● 9	→	→	● 9	→	→	→	→
	○			● 10	→	→	● 10	→	→	● 10	→	→	→
					● 10	→	→	→	● 10	→	→	→	→

(調査の内容)

植生調査等（1箇所当り）

- ① 毎木調査（大プロット20m×20m）
 - ・直径4cm以上の個体の樹種、樹高、直径を調査
 - ・4つの階層に区分し、階層毎の植被率を調査
- ② 低木類の調査（中プロット10m×10m×2）
 - ・直径4cm未満、樹高1.5m以上の個体の樹種、樹高、直径を調査
- ③ 稚樹調査（小プロット1m×1m×18）
 - ・樹高1.5m未満の木本の稚樹の樹種・樹高を調査
- ④ 土壌調査（1断面）
 - ・土壌pHの測定や土壌PHの測定や土壌断面の調査

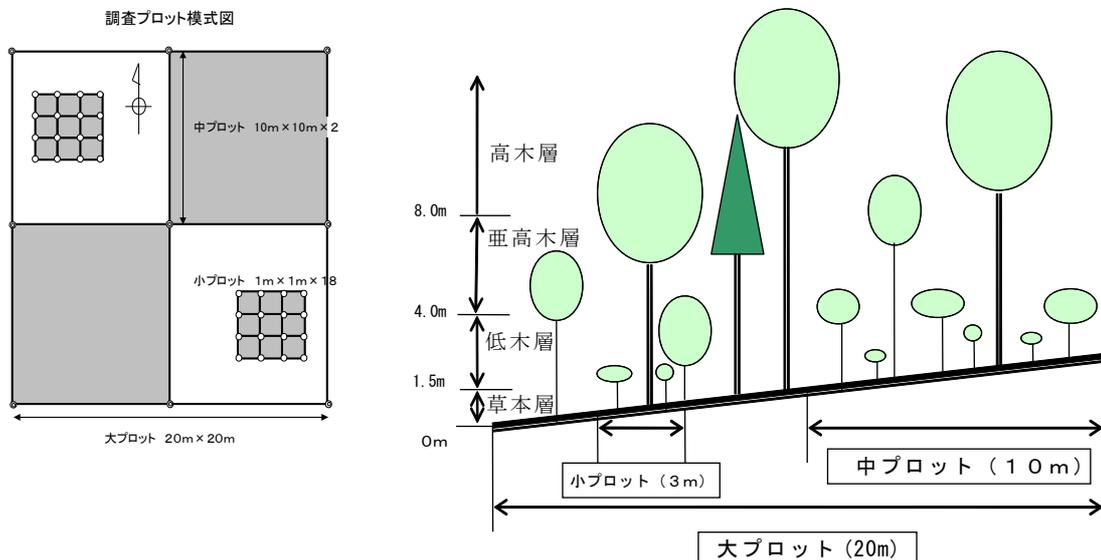


図 プロットの設定イメージと植生調査の階層区分